

2025年11月発行

発行部数 31,500部

発行

港区芝地区総合支所協働推進課

〒105-8511 港区芝公園1-5-25(港区役所2階)

TEL 03-3578-3192 FAX 03-3578-3180

ボランティアの
編集委員が
つくっています

 パックナンバーをWebにて公開中
芝 情報誌 検索

SHIBA - TAG

しばタグ



港区立みなと科学館

プラネタリウム



プラネタリウムチーム リーダー高木右京さん

“都会の真ん中で科学にふれる”「港区立みなと科学館」は、令和2年(2020)6月、港区虎ノ門にオープンした科学館です。

そして、この「港区立みなと科学館」が誕生した所は、わが国最初の公立小学校である東京府小学第一校の流れをくむ旧港区立駒絵小学校の由緒ある跡地です。

建物は、地上14階建ての(気象庁のある)ビルとして親しまれ、ビル1階に「みなと科学館」、2階に「みなと科学館プラネタリウム」と「気象科学館」が設置されています。

今回は、みなと科学館のプラネタリウムに体験取材させていただきました。

プラネタリウムチームのリーダー高木右京さん、
涉外広報チームの中村真理子さんにお話を伺い

夕焼け投影

ました。
直径15mのドーム型ホールの「みなと科学館プラネタリウム」には、さまざまな番組プログラムがあり、その中には、オリジナル番組も取りそろえられています。

6名のプラネタリウム解説員による星空投影【生解説付き】は、同じ番組でも、それぞれの解説員の語り方が違うのも魅力です。



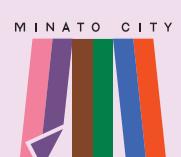
旧港区立駒絵小学校の碑もあります

しばタグ

目次

VOL.72

- 港区立みなと科学館プラネタリウム P1
- [芝の老舗] 伊豆屋 P3
- [illuminato People] 宮崎直人校長 P4
- [ぱるーん] 地域とともに、学び続ける喜びを P5
- [しばテク -芝地区テクテク-] のお寿司で江戸気分 P5
- 港区からのお知らせ] 住まいの防犯対策にかかる費用を助成します! P6
- [都税事務所からのお知らせ] P6
- みんなと結ぶ「へいわ」～港区平和都市宣言40周年～ P7
- [しばテク -芝地区テクテク-] のお寿司で江戸気分 P8
- 芝地区地域情報誌の編集委員募集中! P8



港区立みなと科学館 プラネタリウム



それでは、映像・音響技術の臨場感もあふれるプラネタリウムの番組をいくつかご紹介します。

★お仕事がえりのプラネタリウム★

お帰り前に、ほっと一息。落ちていたBGMとともに満天の星と特別な『星座絵』をお届けします。



11月・12月の投影日

11月19日(水)
26日(水)

12月 3日(水)
10日(水)
17日(水)
24日(水)



リクエストプラネタリウムは、応募用紙で館内専用ポストまたは、科学館のホームページから、お申込みできます。

あなたの見たい星空がリクエストできます。過去はもちろん、未来のこと。星空のエピソードとあわせて、その時・その場所の星空を解説員が紹介してくれます。

投影中に、スマートフォンなどカメラで、星空を撮影できるシーンがあり、「あなたの星空」を手元に残せます。

番組プログラムは、季節ごとに変わるので、それも楽しみのひとつです。

『『学習投影』もご用意しておりますので、港区内外を問わず多くの小・中学校の『移動教室』としても訪れてほしいです。星の動きをプラネタリウムで体験することで、教科書だけでは得られない実感を伴った理解が得られ、科学への興味や想像力を広げる学びの場となっています』と中村さんは話します。

みなと科学館は、『科学館の利用者が、日常生活の中でも科学を身近なものとして捉え、その知識と教養を持って、自分たちの生活する地球の未来を想像する活動を大切にします』という理念があります。

今回、この「しばタグ」地域情報誌の表紙のためにリクエストした「夕焼け空」港区バージョン(表紙写真)を、高木さんと解説員の重井美香さんが投



座席数121席を完備。座席シートは、ゆったりとしています



影してくださいました。すると、あっという間に星空の始まりを告げる夕焼け空が一面に広がり、幻想的な雰囲気に包まれました。

光学式投影機「オルフェウス」と4Kデジタル式全天周映像システムのハイブリッド・プラネタリウムによって、あらゆる空や景色を作り出すことが可能だそうです。

都会にいながら満天の星とのひととき。みなと科学館プラネタリウムに、ぜひ足を運ばれてみてはいかがでしょうか。

文・写真：桑原 康嘉子

INFORMATION

港区立みなと科学館 虎ノ門3-6-9 気象庁1・2階
TEL 03-6381-5041

●開館時間 9:00~20:00
●休館日 第2月曜日(その日が祝日の場合は翌日)/年末年始(12月29日~1月3日)/臨時休館日あり

※車椅子、耳の不自由な方へのアシストフォンも対応しています。また、一部の番組では副音声(英語)をお聞きいただけます。事前にご予約・お問い合わせください。

<https://www.minato-kagaku.tokyo/>

みなと科学館イチオシの新プログラム



世界の星空ツアー! フィンランド編

〈上映期間〉
11月15日(土)~
12月25日(木)



アッテンボロー博士と 秘密の博物館

〈上映期間〉
12月10日(水)~
2月23日(月・祝)

お待ちしています!

芝の工老舗

芝神明商店街の老舗 お総菜とアートの融合 「伊豆屋」

高層ビルがひしめくビジネス街、港区芝大門。その一角にある芝神明商店街に、どこか懐かしい空気をまとった1軒がたたずみます。90年以上の歴史を刻む食品・総菜のお老舗「伊豆屋」です。3代にわたり、味と人情の物語を紡いてきました。

現在、3代目としてのれんを守る谷澤妙子さんにお話を伺いました。歴史、家族の想い、そして地元とのつながり。そのすべてが、一つひとつ品物に込められています。

初代・梅佐さんの志 「おいしいものを届けたい」

伊豆屋の創業は昭和4年(1929)。初代・谷澤梅佐さんは、妙子さんの祖父にあたります。若い頃に静岡県の伊豆から上京し、修業を重ねました。

「おいしいものを、真心で届けたい」—その一心で、料亭の多いこの界隈に「伊豆屋」を開店。戦前から続くこの店舗は、地域の人々の食卓を支える存在として、長く愛されてきました。

2代目・英助さんの革新と挑戦

2代目は谷澤英助さん。妙子さんの父です。常に顧客のことを考えていたと語られるほど仕事熱心な人物でした。戦後の復興期から高度経済成長期にかけ、いち早く海外の素材を取り入れ、周辺企業の間で評判を呼びます。

自家製の栗きんとんや黒豆煮、田作りは、今なお語り継がれる絶品の味です。平成8年(1996)には、農林水産省の助成事業において「優良食料品モデル店」として表彰され、その功績が広く認められます。

父の英助さんが腕を振るっていた頃の懐かしい写真には現在もお店を支えているお母さまも写っており、店舗には商品が壁いっぱいに並び、当時の活気が伝わってきます。

外国の方に「こちらもおいしいですよ」と勧めると、それ以来ずっと購入が続きました。美味しい物は世界共通だと、家族で実感した記憶があると、話してくださいました。



市場の食材を使用して、調理されています



「一味得体」をモットーに3代目としてのれんを守る谷澤妙子さん(左)と調理を担当する姫江さん(右)



お店で働くご両親さんが写っている思い出のアルバム

3代目・妙子さんの自由と芸術の融合

3代目を継いだ妙子さん。商店街で生まれ育った生粋の“芝っ子”です。美術大学でデザインを専攻した後、渡米先で、材料をただ並べるのではない自由で芸術的な空間を持つグローサリーストアに出会いました。現在、日常の買い物空間で感性を刺激するような、柔軟な発想で店を切り盛りしています。

「食べることは宝。一人でも多くの方に思いやりを届けたい」—その信念のもとで、素材一つひとつに飽くなき完成度を追求、毎朝豊洲市場へ足を運びます。冷凍品は使用しません。総菜の調理はその日の仕入れで決まります。予定していた献立も、天候に左右されるため、その日の状況で変更します。

調理を担当るのは妹の姫江さんです。父の味を受け継いだ黒豆煮は人気の逸品。じつとりとした食感に齒ごたえを残しつつ、現代の嗜好に合わせ甘さ控えめに仕上げています。姉妹で「おいしく、楽しく、美しく」を届ける志をともし、訪れる人を迎えます。

取材日には、新鮮な刺身や旬の食材、煮物、焼き物、蒸し物などが並び、どれも安心して口にできる基準で選ばれ調理されていると実感しました。

芝神明の“味の記憶”を守る

この店には、味の伝承、まちの歴史、そして日本の食文化が息づいています。3代にわたる心遣いの味は、これからも地元の人々の暮らしを彩り続けるでしょう。「素材の持ち味を大切に」—その言葉の裏には、90余りの努力と、芝神明地域への深い愛情が込められています。

「伊豆屋の灯をともし続け、お一人でも多くのお客様にご来店いただけますよう、がんばります」と笑顔で話す妙子さん。芸術の域に達した食の世界で、おいしさと美しさを追い求める探究心に心打たれました。

新築工事、そして未来へ

令和2年(2020)の耐震調査を機に、店舗の新築を決意しました。かつて食材が壁一面を埋めていた店内は、ぬくもりを感じさせるモダンな空間へ一新。同時に、非対面販



受け継がれる味。黒豆煮や栗きんとん、田作りはお正月に限らず、人気の総菜



取材:森 明/早川 由紀 文・写真:早川 由紀
INFORMATION
芝神明商店街 伊豆屋
芝大門1-6-4
TEL 03-3431-7610
<https://www.maisonizuya.com/>



Illuminato People

どこまでも明るく前向きに 地域の太陽のような存在の 校長先生

芝浜小学校校長 宮崎直人先生

区立小学校の校長先生でありながら、地域の人気者でもある宮崎直人先生。校長室から一歩出れば生徒たちに囲まれ、保護者たちは絶大な人気を誇り、地域のお祭りでは近隣の人々次々に声をかけられる人気ぶり。「校長先生」のイメージの枠をよい意味で大きく突き抜けています。フランスの日本人学校や離島での勤務経験もあるという宮崎直人先生の素顔に迫ってきました。

—まず、自己紹介をお願いします。

宮崎：芝浜小学校校長の宮崎直人です。芝地区の赤羽小学校で校長や赤羽幼稚園で園長として5年間勤めた後、芝浜小学校が開校した時に着任して4年目になりました。

—先生が教育に携わるようになったきっかけは何ですか？

宮崎：大学時代のボランティア活動で、小学生と関わったことがきっかけです。

—先生が日々大切にしていることを教えてください。

宮崎：常に前向きな気持ちを持ち続けチャレンジすることです。今年度の芝浜小学校のスローガンも、「やる気・元気・勇気・本気・根気 Go for it! Shibahama Children!!」です。

—学校を運営する上で心がけていること、工夫していることは何でしょうか？

宮崎：できる限り子どもたちと関わり、コミュニ



廊下の壁に掲げられた今年度のスローガン。それは、宮崎先生の教育に対する信念そのものです

ーションを深めようとしていることでしょうか。毎朝、正門に立って子どもたちを迎えるり、休み時間には可能な限り校長室を開放して、子どもたちが気軽に来て遊んだり話したりできるようにしています。そして常に、「応援しているよ」というメッセージを伝えるように心がけています。

校旗の横で、ガッツポーズをとる宮崎先生。お話を端々に、力強さとともに、親しみやすさが感じ出ています



—これからの教育現場に大切なことは何ですか？ また、港区の教育現場の特色にはどういったものがありますか？

宮崎：子どもたちが学習する環境や生活する環境はどんどん変わってきますが、子どもたち自身の本質は、昔も今も大きくは変わらないと思っています。「実際に見たり、聞いたり、体験したこと」や「いろいろな人たちと触れ合うこと」を大切にしたいです。

港区は、全国でも有名な観光地や放送局、大使館が多くなり、企業の本社が集まっていると流行の最先端をいくようなイメージがありますが、一方ではお祭りが盛んだったり、伝統的な文化が根付いていたりして、とても魅力的な地区だと思います。このような港区の良さも学校教育に生かしていくたいと考えています。



赤羽幼稚園の園長先生時代、お誕生日会で子どもにプレゼントした宮崎先生手作りのバルーンアートたち

宮崎：一つは体を動かすことですね。みなとシティハーフマラソンも走ったことがあります。また、旅行が好きで、最近は車で出かけたりもしています。大阪万博にも車で行こうと思っています。毎日のリフレッシュ方法は、よく寝ること、そしてお風呂も気持ちが切り替わるので好きです。お酒を飲むのもリフレッシュになっています。

—お忙しい毎日だと思いますが、先生ご自身の趣味やリフレッシュ方法を教えてください。

宮崎：今頑張っていることを大切にしながら、「夢」や「目標」に向かって努力できる人、回りの人たちを大切にできる人になってほしいと思います。夢中になれるを見つけて、今しかできないことを思いきり楽しんでください。

—今日はありがとうございました

宮崎：ありがとうございました。

聞き手：文：逸見 チエコ



全校集会の時に全校児童の前でお話をする宮崎先生。常に子どもたちに笑顔を届けるサービス精神にあふれています

生涯学習センター



子どもから大人まで
楽しく学べる！

地域とともに、学び続ける喜びを

ばるーんは、一人ひとりが主体的に学びに向かう姿勢を大切にしながら、互いに学び合うことができる、港区の生涯学習の拠点です。多様な年代、ライフスタイルに応じ、【いつでも、どこでも、だれでも】参加できる、学びの機会を提供してくれています。

1階から4階まで、広さや形態の異なる12の学習室では、登録団体の皆さんのが学習活動、音楽活動、スポーツなど、さまざまな活動を行っています。それぞれの団体が工夫をこらしながら、楽しく、そして意欲的に取り組んでいます。施設全体が、学びと交流の場として賑わい、地域のつながりを育む大切な場所になっています。

ばるーんでは、新たな取組として、12月11日(木)に、ばるーんゼミナール教養編『鏡の前で、心も整う。メンズスキンケア習慣』を開催します。かつては「男たるもの我慢」と考えていた講師の伊藤総さんは、スキンケアを通じて自分をいたわる大切さに気づいたと言います。この講座に参加して、肌に触れ、自分自身を大切にする時間を体験してみませんか？

取材・文：千葉 みな子

INFORMATION

港区立生涯学習センター(ばるーん)

新橋3-16-3

TEL 03-3431-1606 MAIL baloon@kissport.or.jp

<https://www.kissport.or.jp/sisetu/shogaikusyu/guide/>



ばるーんゼミナール教養編 『鏡の前で、心も整う。メンズスキンケア習慣』

- 開催日 12月11日(木) 19:15~21:00
- 対象 港区在住・在勤・在学者の方
- 定員 30名

詳しい内容、申し込み方法などは、Kissポート財団のホームページ、キスポート誌11月号をご覧ください。左の2次元コードからもご覧いただけます。

芝の家・ちゃぶ台日誌 冬編

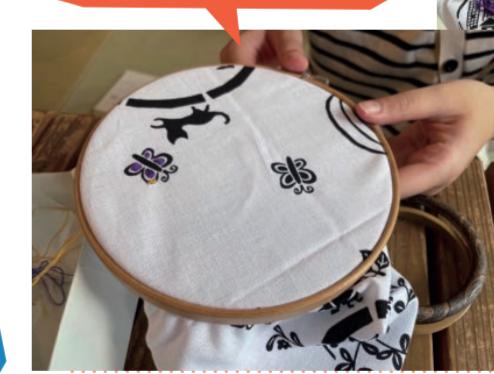


ご近所にお住まいのネパール出身の方たちに、いつもご家庭で食べているネパール料理を教えていただき、みんなで作りました。

食材は、近所のお店で購入したものを加えて、ニンニクは芝の家のプランターで育てたものを！一緒に調理をしながら知らない食材や料理方法などもたくさん教えてもらいました。

そして、暑い夏にぴったりのスパイスの効いたとってもおいしいネパール料理ができ上りました。盛り付けも素敵ですよね。ごちそうさまでした！

15周年記念で制作した「芝の家オリジナル手ぬぐい」に刺しゅうをするワークショップを開催しました。「刺しゅう初心者の方もいらっしゃいましたが、皆さんとっても素敵にでき上りました。



「ちゃぶ台日誌」は、芝の家ホームページにて日々の様子やイベントのお知らせを投稿するブログのタイトル。ホームページも合わせてご覧ください。



芝の家の駄菓子の数々。お子さんから大人の皆さんまで世代を超えて大人気です。



文：芝の家・芝地区総合支所協働推進課

INFORMATION

芝の家 芝3-26-8 TEL 03-3453-0474

〈開室日時〉火～金 11:00～16:00

土* 12:00～17:00

※芝のはらば活動日を除く

〈休室日〉 日・月・祝

<http://www.shibanoie.net>

開室時間は変更が生じる場合もあります。最新の情報はホームページや掲示板をご覧ください。

芝の家は、芝地区の地域事業「地域をつなぐ!交流の場づくりプロジェクト」の拠点。港区芝地区総合支所と慶應義塾大学の協働で始まり、事務局スタッフとボランティアスタッフが日々の場を運営しています。姉妹拠点「ご近所ラボ新橋」(港区新橋6-4-2)と合わせてお気軽にお立ち寄りください。

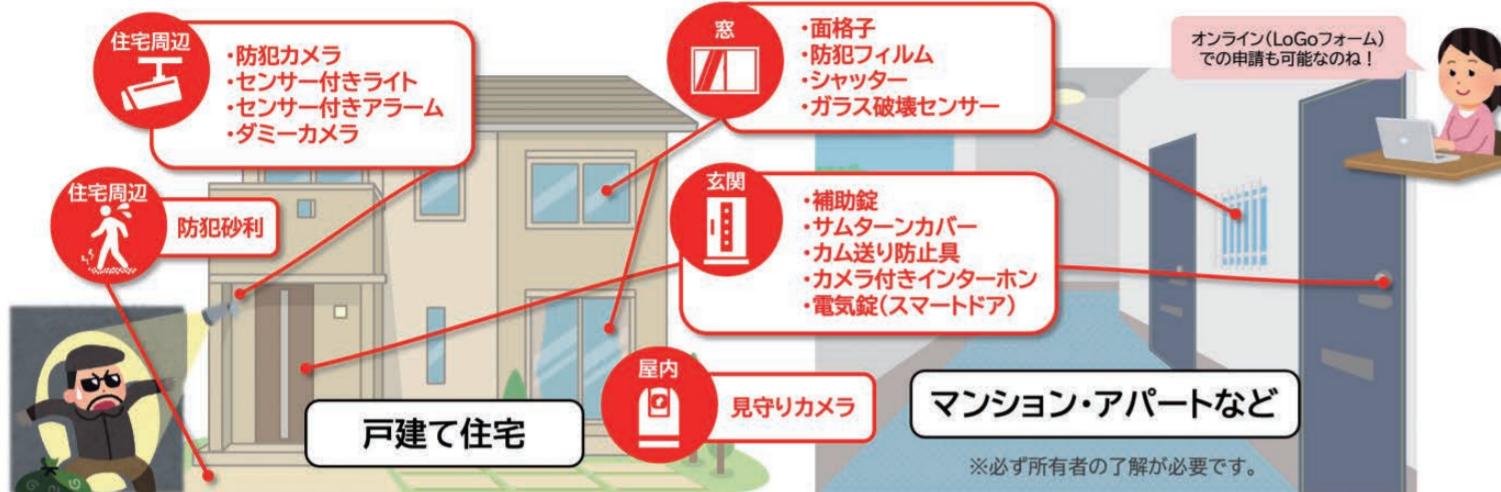
港区からのお知らせ

住まいの防犯対策にかかる費用を助成します!

近年、強盗事件などの犯罪が増加傾向にあります。

「安全で安心な生活」を守るために、自宅の防犯対策を強化しませんか?

令和7年度は、防犯対策費用の助成を臨時に拡充しています!



●対象となる方

区内に住民票がある世帯

●助成の対象となる防犯対策

現在居住している住宅に行った以下のような対策
●鍵の交換 ●窓への防犯フィルム貼付 ●防犯カメラの設置 など

●助成額

費用の4分の3(5,000円以上、上限40,000円[※])※100円未満は切り捨て

電子申請・郵送・窓口持参のいずれかで申請できます。

<電子申請の場合>

申請フォームから申請後、領収書(原本)[※]をお住まいの地区の総合支所協働推進課協働推進係へ提出してください。
※領収書が電子データの場合は、申請時に添付可能です。

<郵送・窓口持参の場合>

申請書に必要事項を記入し、領収書(原本)を添えてお住まいの地区の総合支所協働推進課協働推進係へ提出してください。

●注意事項

●費用を支払った日から90日以内に申請してください。

●領収書は返却できません。

●助成は年度内に1世帯1回限りです。

●賃貸住宅の場合は、所有者の了解が必要です。

各総合支所 協働推進課 協働推進係

芝地区 TEL 03-3578-3123 麻布地区 TEL 03-5114-8802

赤坂地区 TEL 03-5413-7272 高輪地区 TEL 03-5421-7621

芝浦港南地区.... TEL 03-6400-0031



申請フォーム



港都税事務所からのお知らせ

小規模非住宅用地の

固定資産税・都市計画税を減免します(23区内)

一画地における非住宅用地の面積が400m²以下であるもののうち、200m²までの部分について、固定資産税・都市計画税の税額の2割を減免します(個人または資本金・出資金の額が1億円以下の法人等が所有するものに限る)。減免を受けるためには、令和7年(2025)12月26日(金)までに申請が必要です。

*こちらの申請は、インターネットでもお手続ができます。

*未申請の方で、小規模非住宅用地を所有していると思われる方には、9月までに減免手続のご案内を送付しております。

●問い合わせ先: 土地が所在する区にある都税事務所

[港区にある物件について]

港都税事務所 TEL 03-5549-3800(代表)

都税における納税証明は、全ての都税事務所・都税支所・支庁で申請できます

納税証明は全ての都税事務所・都税支所・支庁で申請できます。ただし、申告・納付後1~2週間以内に納税証明を申請する場合は、①領収証書の原本(領収印のあるもの)②申告書の控え[※](受付印のあるもの)の両方をお近くの都税事務所などの窓口までお持ちください。

*②は申告税目のみ

●問い合わせ先: 港都税事務所 TEL 03-5549-3800(代表)

にせ都税メール・電話にご注意ください!

都税事務所の職員を装って、個人情報を不正に取得したり、金銭をだまし取ろうとする事例が発生しています。不審に感じた場合は即答せずに、下記問合せ先までご連絡ください。また、万が一被害にあわれた場合は、すぐに警察にご連絡ください。

●問い合わせ先: 総務部 総務課 相談広報班 TEL 03-5388-2925



みんなと結ぶ「へいわ」

～港区平和都市宣言40周年～

令和7年度は、戦後80年および港区平和都市宣言40周年という節目の年です。

港区は昭和60年(1985)8月15日に、世界の恒久平和を願い、核兵器の廃絶を広く訴える「港区平和都市宣言」を行いました。

今年度は、幅広い世代の区民の皆さんとともに平和の大切さを改めて考え、未来へと語り継いでいくため、「みんなと結ぶ「へいわ」」というテーマを掲げ、年間を通してさまざまな周年事業を実施しています。



戦争・戦災体験集(第4集)

戦争・戦災体験集(第4集)

港区平和都市宣言40周年にあたり、戦争体験者へのインタビューをはじめ、港区の戦争被害や戦争との関わりをまとめた「港区戦争・戦災体験集(第4集)」を制作しました。区内在住・在学の学生たちが、11名の戦争体験者の当時の記憶やそれぞれの平和への想いを丁寧に聴き取っています。

この体験集は、区内の小中学校や施設に配布しているほか、区のホームページにこの電子データと、インタビューの様子をまとめた動画を掲載しています。ぜひご覧ください!



戦争体験者の聴き取りの様子



さまざまなイベントにも参加しています



大人も子どもも、平和への想いを込めて折り鶴を作っています

このプロジェクトは、区の平和事業や保育園、児童館、子ども中高生プラザで取り組むほか、下記期間中に区内の施設で参加できます。この周年の機会に、平和について考えてみませんか。

●実施施設 区内いきいきプラザ、区民センター、男女平等参画センター

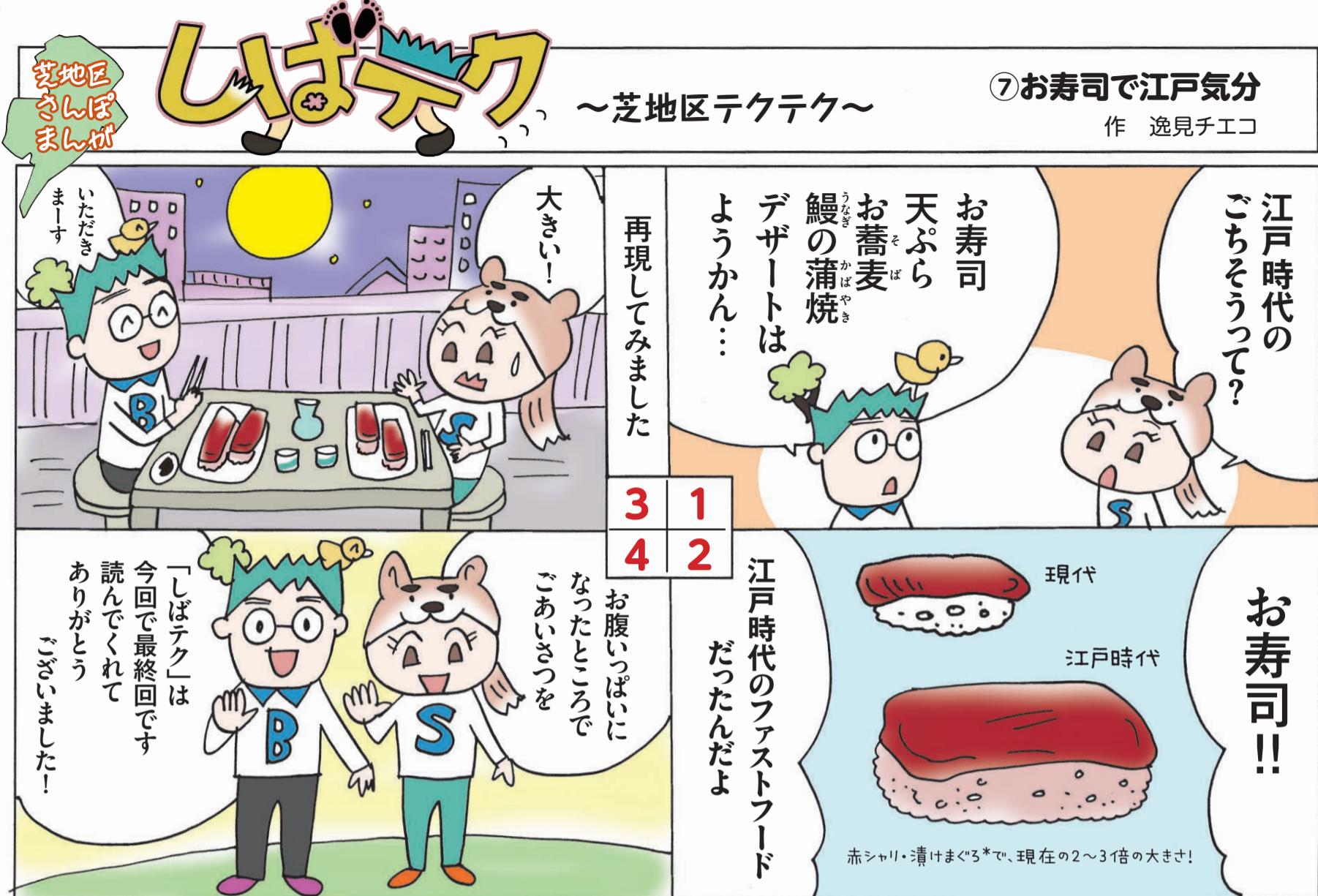
●実施期間 令和7年(2025)12月12日(金)まで

QRコード
そのほかにも、さまざまな平和事業に取り組んでいます!
詳しくは、40周年事業特設ページをご覧ください。

◀40周年事業特設ページ二次元コード

●問い合わせ先: 港区 総務部 総務課 人権・男女平等参画係

TEL 03-3578-2014



しーばん

芝地区に住んで3年目。
まち歩きが趣味



ばっしー

芝地区にあるカフェの2代目
店主。歴史オタクでもある

*東京湾で獲れた魚介類を使用していた。
しめ魚、こあじ、煮いかなどのお寿司も

芝地区 MAP

1~20

旧町名由来板の設置場所



Follow me!

芝地区総合支所 公式SNS



Instagram
@minato_shiba_official



40 みんなと結ぶ「へいわ」～港区平和都市宣言40周年～

港区芝地区総合支所協働推進課

〒105-8511 港区芝公園1-5-25(港区役所2階)

TEL 03-3578-3192 FAX 03-3578-3180

<https://www.city.minato.tokyo.jp>



区ホームページ

●編集委員……伊藤早苗／菊池弓可／桑原庸嘉子／千葉みな子／中原たづ子／早川由紀／逸見チエコ／森明(敬称略)

●配布場所……芝地区総合支所内の地域(芝、海岸一丁目、東新橋、新橋、西新橋、三田一～三丁目、浜松町、芝大門、芝公園、虎ノ門、愛宕)の方にお届けしているほか、地区内各施設などで配布しています。

各支所では、地域情報誌(情報紙)を定期的に発行しています。

支所内各戸配布のほか、港区立図書館(高輪図書館分室を除く)・各いきいきプラザで閲覧可能です。

区役所のサービスや施設・催しの案内

みなどコール

TEL 03-5472-3710

(年中無休 8:00~20:00)

●芝地区総合支所「しばタグ」

●麻布地区総合支所「ザ・AZABU」

●赤坂地区総合支所「MYタウン赤坂・青山」

●高輪地区総合支所「みなどっぷ」

●芝浦港南地区総合支所「べいあっぷ」

買い物するなら
地元の
商店街で

Going shopping?
Visit our
shopping
streets.

刊行物発行番号 2025076-1235